

## 令和5年度 事業報告

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

### 事業目的

家庭の主婦、高齢者及び障害者等を対象に、内職についての相談受付、内職機会の確保・提供、製作のための各種技術講習会の開催等を実施し、家庭経済の安定による健全な家庭づくり、高齢者、障害者の自力更生及び生きがい対策などに寄与することを目的とする。

### 事業概要

令和5年度は、5月から新型コロナウイルスが5類に引き下げ、社会活動の大幅な緩和に踏み出し、サービス消費やインバウンド消費がプラス成長に動き出したが、反面“モノの価格”の上昇に伴い経費の増加が続いていました。

そのような中、当センターの決算では、主要な事業収益が4,502万円余で前年比87.1%、金額で665万円余が減少、これは、主に防災用の黄色い旗の売上に係る加工売上やマスコット人形などの手芸品の内職は単価値上により収益増となったものの、当センターの主要業務である広報紙の差込や商品カタログの袋詰めなどの紙媒体に関する業務、各種部品の組立業務が減となったことによるもので、経常収益では687万円が減少しました。

一方、支出においては、人件費は退職給付費用が減となったものの、福利厚生費（予防健診の充実）、賞与（一時金支出）が増となったことから前年度比100.5%、金額で9万円余が増加しました。

また、事業費及び管理費では、屋上防水改修工事に伴う建物減価償却費、物価高騰による消耗品費が増となったものの、反面、業務受注量が減少したことに伴い内職者に支払う内職工賃及び租税公課の内の消費税が減となり、突発的大規模修繕費が完了したことと、賃借料及び委託費については業務の効率化を図ったことから、人件費を除く事業費では前年度比85.0%、金額で626万円余が減少しました。経常費用では前年比89.9%、金額で616万円余が減少し、単年度収支は292万円余の赤字となりました。

特に、収益改善策として、既存の機械器具部品の組立単価を発注企業様と話し合いをさせて頂き、17種類の単価について、1個当たり90銭円から2円の幅で値上げを実施するとともに、静岡県印刷工業組合の81会員あてに、当センターから送り状、チラシを配布させて頂き内職業務の周知に努めました。

### 1 相談受付及び内職のあっせん

内職希望者からの相談の受け付けや、各々に適する職種や現物をあっせんしました。また、様々な理由であっせんが困難な方には、他の機関や事業所などを紹介しました。

- |              |                        |
|--------------|------------------------|
| (1) 登録者数     | 147名（内訳 新規 61名、更新 86名） |
| (2) 就労者延べ人数  | 年間 988名 月平均 82名        |
| (3) 他の機関等を紹介 | 12名                    |

## 2 受注機会の確保、職種の開拓

厳しい受注環境ではありましたが、希望者にできるだけ内職をあっせんできるように、内職技術講習の充実や広報活動等を通じ、受注の確保や新たな業務、職種の開拓に努めました。

また、障害のある方の自立支援にも貢献できるように、軽作業については可能な限り就労支援施設等との連携を諮りました。

- (1) 令和5年度中の取引企業数 36社（県外企業 1社、新規取引企業 2社）
- (2) 取扱職種 大別して46目（印刷物関係、マスコット作成、部品組立て、縫製等）  
詳細で823品目

## 3 内職加工の品質向上に向けた技術講習会の実施など

大量且つ単純な業務が減少し、少量・多種で、一定の技術力を必要とする複雑な作業を伴う業務が増加している。これらに対応できる人材の確保が必要となることから、内職者の中から適性を見極め、適切な研修を行い複雑な作業に従事できる内職者を育成していく。

また、単純・定型的な作業についても品質確保を維持し、更なる習熟度を高め効率化を図るとともに、全ての作業について、指導する立場の職員が正確かつ効率的な作業方法を研究、会得するとともに、作業内容を分かりやすく図示した指示書を作成し、内職者が正しい作業手順が理解できるよう指導の徹底と作業精度の向上、受注量の増を図っていく。

今後も製品に対する検品を徹底することにより、不良品等の発生を最小限に食い止め、発注者が期待するレベルの維持に努めていく。

## 4 場内作業環境の整備充実

現在の施設は平成9年度の建設のため、様々な設備を含め老朽化が進んでいた。これまでに空調設備や照明器具改修、コンピュータシステムの更新、屋上防水改修工事が完了したことから、今後は、平成10年1月に設置した電気室の変圧器とケーブルが25年を経過しているため改修を予定している。

また、受注業務が多様化し、センター内での作業を必要とする業務も増加していることから、今後は施設の効率的活用として小部屋での作業を大部屋に移動し、小部屋を一時保管庫として必要に応じて小部屋を有効活用する方式と、それに伴う冷暖房の抑制など光熱水費の効率化を図り、安心・安全かつ効率的な作業環境の実現に努めていく。

## 5 広報活動の充実

景気の低迷下において新規事業を開拓・確保するため、ホームページやパンフレット、電話帳を通じた情報発信とともに、あらゆる機会を捉え積極的に情報発信していく。

また、静岡市就労準備支援センター（リボン静岡）と就労体験及び職業訓練確認書を取り交したことから、当センター内の内職作業を見学、就労体験を引き続き実施した。

就業セミナーなどを通じて、多様な働き方の一つとしての内職に対する理解の向上と周知に努めることで、新たな内職者の確保につなげていく。

## 6 関係機関との連携

監督官庁である静岡県、静岡市の担当課より公益法人の運営や財政的課題に関し、適時指導・支援を仰ぐとともに、ハローワーク等の機関にも協力いただき、業務の開拓や内職者の確保に努めました。

静岡県経済産業部就業支援局労働雇用政策課

静岡市経済局商工部商業労政課

## 庶務事項

### 1 役員会

#### (1) 監査

令和5年5月11日 令和4年度事業及び計算書類などに関する監査

#### (2) 理事会

令和5年6月 2日 令和5年度 第1回理事会

第1号議案 令和4年度 事業報告及び計算書類等について

第2号議案 理事の候補者について

第3号議案 監事の候補者について

第4号議案 議員会の招集について

(第1号議案～第4号議案 承認)

報告第1号 理事長及び常務理事の職務執行状況について

報告第2号 利益相反取引の報告について

報告第3号 理事の辞任について

令和5年 6月27日 令和5年度 第2回理事会 (決議の省略)

第1号議案 理事長の選定について

第2号議案 常務理事の選定について

(第1号、第2号議案 承認)

令和6年 2月21日 令和5年度 第3回理事会  
第1号議案 利益相反取引の承認について  
第2号議案 令和6年度 事業計画について  
第3号議案 令和6年度 収支予算について  
第4号議案 評議員会の招集について  
(第1号議案～第4号議案 承認)  
報告第1号 理事長及び常務理事の職務執行状況について

(3) 評議員会

令和5年6月19日 令和5年度 第1回(定時)評議員会  
第1号議案 令和4年度 事業報告及び計算書類等について  
第2号議案 理事の選任について  
第3号議案 監事の選任について  
(第1号議案～第3号議案 承認)  
報告第1号 理事の辞任について

令和6年3月25日 令和5年度 第2回評議員会  
第1号議案 令和6年度 事業計画について  
第2号議案 令和6年度 収支予算について  
(第1号議案～第2号議案 承認)

2 登 記

令和5年6月28日 役員(理事、監事)変更に伴う変更登記を実施(7月6日登記完了)

3 役員等(令和6年3月31日現在)

理事長	松 村	英 俊	
常務理事	斎 藤	隆 之	センター事務局長兼務
理事	岩 井	泰次郎	
理事	岡 部	正 志	
理事	松 永	秀 昭	
理事	金 丸	貴 之	
理事	山 田	有美子	
監事	本 多	夏 樹	税理士
監事	杉 本	静 男	

評議員	土 屋	源太郎
評議員	小 幡	剛 弘
評議員	遠 藤	日出夫
評議員	天 野	浩 明
評議員	長 島	清
評議員	稲 葉	光
評議員	一ノ宮	由 美

#### 4 職 員

	年度当初	年度末
事務局長	1人（常務理事兼務）	1人（常務理事兼務）
事務職員	4人	4人
計	5人	5人

#### 5 施設状況

所在地	静岡市葵区田町四丁目16番地
土地面積	598,33㎡
建物の構造	鉄骨造り3階建て
延べ床面積	854,44㎡
所有者	静岡市